

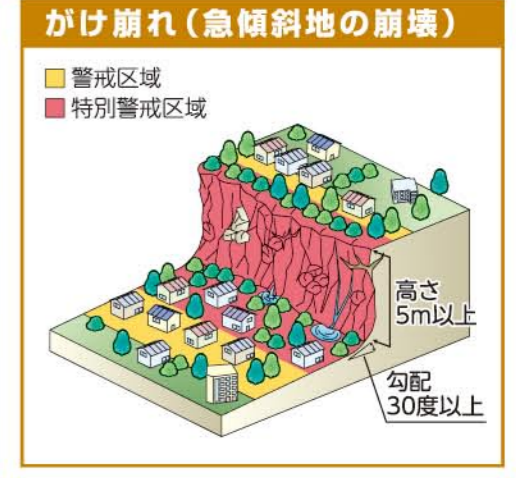
# 土砂災害ハザードマップ

Landslide Disaster Hazard Map 泥砂災害地図 土砂 土砂 土砂

東京都は平成31年3月15日、土砂災害防止法に基づき武蔵村山市内に土砂災害警戒区域125箇所(うち土砂災害特別警戒区域113箇所)を指定しました。

## 土砂災害とは

土砂災害には、土石流、がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、地すべりの3つの現象があります。武蔵村山市ではこれらのうち、台風や大雨、長時間の雨による地盤のゆるみ、地震などの影響で、土石流とがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)が発生するおそれがあります。土石流とは、山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象です。がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)とは、斜面の土が急激に崩れ落ちることをいいます。



### 土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じることがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

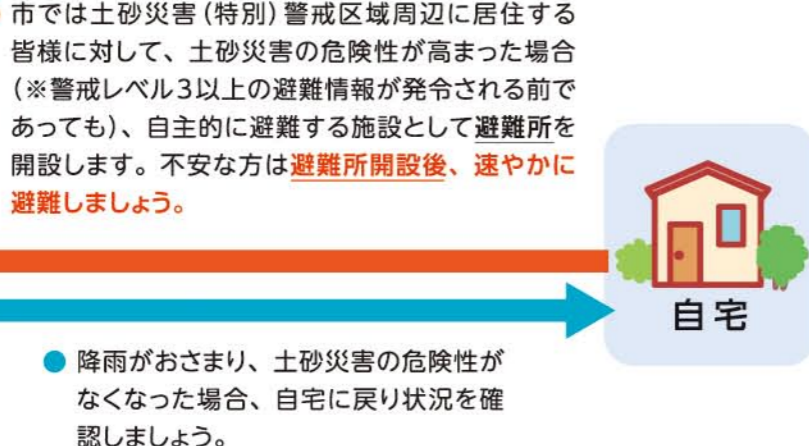
- ◆土石流の指定範囲
  - ・土石流の発生のおそれのある深流において、崖頂部から下流で勾配が2度未満になるまでの区域
- ◆がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)の指定範囲
  - ・傾斜度が30度以上で高さ5メートル以上の区域
  - ・急傾斜地の上部から水平距離が10メートル以内の区域
  - ・急傾斜地の下部から急傾斜地の高さの2倍(50メートルを超える場合は50メートル)以内の区域

### 土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)の内側において、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じることがあると認められる区域であり、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

## 避難の流れ

避難所	施設名	所在地	施設
総合体育館	岸3-45-6	岸3-45-6	総合体育館
第一小学校	岸1-1-11	岸1-1-11	第一小学校
中摩地区会館	中摩3-16	中摩3-16	中摩地区会館



- 市では土砂災害(特別)警戒区域周辺に居住する皆様に対して、土砂災害の危険性が高まった場合(※警戒レベル3以上の避難情報が発令される前であっても)、自主的に避難する施設として避難所を開設します。不安な方は避難所開設後、速やかに避難しましょう。
- 降雨がおさまり、土砂災害の危険性がなくなった場合、自宅に戻り状況を確認しましょう。

## 情報の収集方法

災害時にはいろいろな災害情報が配信されます。常に最新の情報を集めるよう心がけましょう。

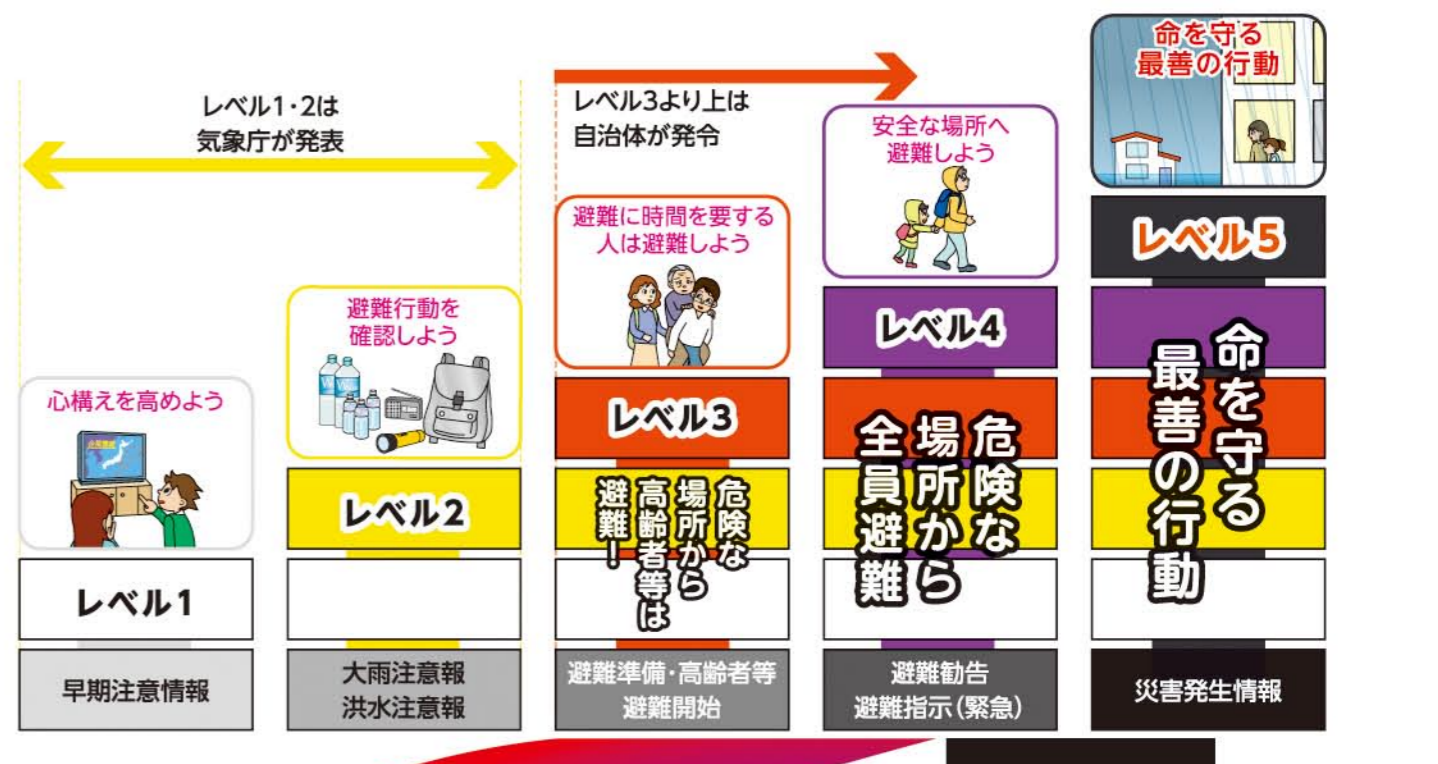
- 武蔵村山市公式ホームページ: <http://www.city.musashimurayama.lg.jp>
- 武蔵村山市 Twitter: @m\_murayamacity
- 武蔵村山市 Facebook: <https://www.facebook.com/musashimurayamacity>
- 武蔵村山市 災害情報提供サービス (メール登録制): [musashi@req.jp](mailto:musashi@req.jp)
- テレビ(デジタルデータ放送④): 災害発生時は、テレビのデジタルデータ放送で武蔵村山市の避難情報や避難所等の情報が受け取れます。
- 緊急速報メール(エリアメール)
- ケーブルテレビ(11ch)「J:COMチャンネル」
- ジェイコム多摩 防災情報サービス(有料)
- 気象庁 - 土砂災害警戒情報: <http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- 東京都 水防災総合情報システム(地区別情報): [http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/im/uryusui/tsim0103g\\_441312.html](http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/im/uryusui/tsim0103g_441312.html)
- ラジオ: 防災行政無線からの放送

## 避難行動について

### 安全確保の水平避難 親戚・知人も避難先!

水平避難の避難先は、市が開設する避難所だけでなく、近所や親戚・知人の家、助産院や宿泊施設等も避難先になり得ます。あらかじめ避難先として頼る人に話をし、万が一の事態に備えましょう。市の避難所への避難者集中を防ぐためにも、市民による自助・共助が必要です。

「避難」とは「難」を「避」けることであり、自宅での安全確保が可能ならば避難場所に行く必要はありません。本当に避難場所に行く必要がある方を、適切に受け入れられるようご協力ください。



### 避難情報と「とるべき行動」

災害発生のおそれが高まった状況下では、右図のような情報が各機関から公表されます。

### 避難時の心得

水平避難が困難な場合は近くの建物に垂直避難を



## 水害への備え・避難時の装備

避難は徒歩が基本

風水害時は徒歩での避難が基本です。徒歩での避難が難しい場合は交通機関が動いているうちに避難を開始してください。病人や要配慮者などを避難させる特別な場合を除いて、車の避難は避けましょう。

### 風水害時の避難の装備



### 風水害時の非常持ち出し

すぐに持ち出さるよう準備しておきましょう。

- ◆ないと困るもの
  - 軽食
  - 常備薬
  - 着替え(下着)
  - パスタ
- ◆あると便利なもの
  - 耳栓
  - スリッパ
  - アイマスク
  - モバイル充電器・イヤホン
  - 簡易まくら
  - ハンドジェル
  - マスク
  - ウェットティッシュ
  - 体温計
  - 冷却剤
  - 携帯用使い捨てカイロ

### 動きやすい服装、2人以上で避難



### 高齢者等の避難支援をお願いします



## 災害時のペット対策

### 災害時はペットと一緒に避難

同行避難でペットの命を助けます。災害が起こった時、ペットと飼い主は同行避難することが基本です。ペットと飼い主が離れ離れになると、「ペットが負傷したり衰弱死するおそれがある」「不衛生な糞尿・増える公共衛生上の環境悪化」「放浪動物となって人に危害を与えるおそれがある」等の問題発生が懸念されます。

### 避難所でのペット受入について

市の避難所では、原則としてペットの同行避難が行えます。しかし、動物アレルギーの人や動物が苦手な人への配慮が必要なため、ペットと飼い主が同居して生活することはできません。避難所へのペット受入条件: 1.犬、猫、小鳥や他の小動物のみ受入できます。2.動物はケージやキャリーバッグに入れて持ち帰ってください。3.避難所で決められたルールに従って飼育してください。4.餌は持ち出し、餌やり・糞尿の始末は飼い主自身で行います。5.専用の飼育施設が必要な動物(大型動物、特定動物等)は、あらかじめ預けられる施設を確認しておきましょう。